

南海トラフ地震による新たな被害想定より



海岸線での津波の高さ ～最大クラスの南海トラフ地震の特徴～

令和8年6月8日にフィリピン付近で大規模な地震がありました。幸いにも南国市には大きな被害はありませんでしたが、最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、津波の高さはどうなるのでしょうか。

■ 長く強い揺れ

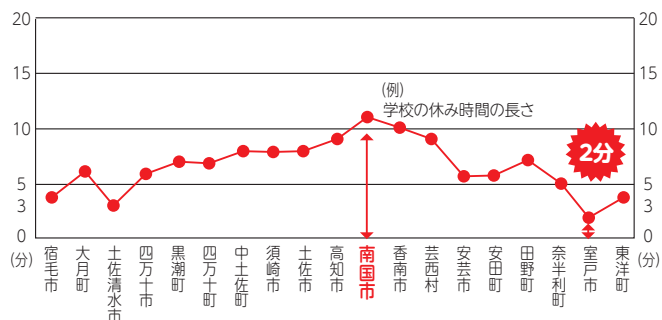
最大クラスの地震が発生すると、高知県全域は強い揺れに襲われ、**33市町村が最大で震度7**に、残りの1市町村でも震度6強になると想定しています。

■ 早くて高い津波

高知県では、1メートルを超える津波が地震の発生から早いところでは**2分**で海岸線に押し寄せます。また、一部を除くすべての海岸線で、**津波の最大の高さが10メートルを超える**と想定しています。

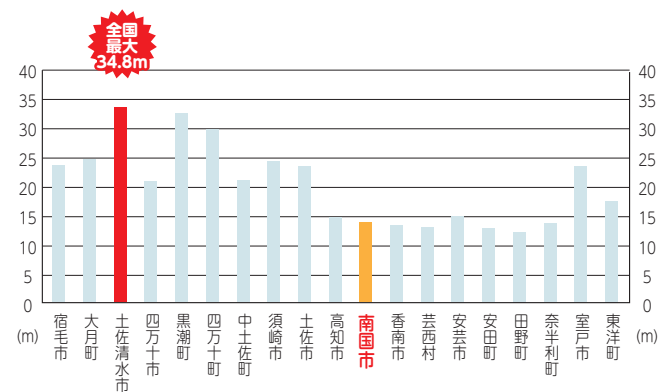
■ 海岸線への1メートルを超える津波

各市町村の海岸線に1メートルを超える津波高が到達する時間が分かります。



■ 海岸線での津波の高さ

各市町村の海岸線での最も高い津波高が分かります。



絶対に海岸や河口付近に
近づかないでください！



最大クラスの南海トラフ地震の被害について

建物被害

建物被害 (R 7)	
液状化	2,900棟
揺れ	136,000棟
急傾斜地崩壊	1,500棟
津波	61,000棟
地震火災	3,600棟
合計	204,000棟

人的被害

死者数 (R 7)	
建物倒壊	8,200人
急傾斜地崩壊	150人
津波	14,000人
火災	370人
合計	23,000人

※四捨五入の関係で合計が合わない場合あり

■ 減災のためには

高知県では、令和8年3月に高知県版の「南海トラフ地震による最大クラスの被害想定」を見直しました。

新たな被害想定として、建物被害は約3割増加しました。また、人的被害も死者数が約6割、負傷者数も約2割増加しています。被害の軽減には住宅の耐震化や津波からの早期避難などの対策が重要になります。被害をイメージできるシナリオや、被害を減らすための取り組みと併せて、新たな被害想定が県のホームページに公表しています。

被害想定を正しく理解し、これまで以上に、事前の備えに取り組んでください。

県の被害想定へのHPへのリンク



もしも停電発生したら…

そんな時に、四国電力送配電からのお知らせです

停電情報のプッシュ型配信サービスについて

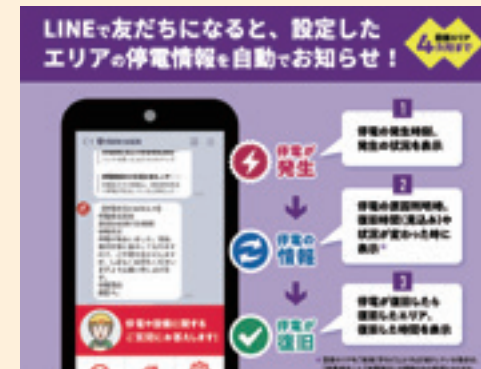
四国電力送配電では、停電情報をタイムリーにお届けするため、「LINE」を活用した停電情報のプッシュ型配信サービスを提供しております。

本サービスは、お客さまが事前に指定されたエリア※で停電が発生した場合、「停電発生」と「停電復旧」のタイミングで当該情報を自動受信することができ、無料でご利用いただけます。

※エリアの範囲は、「四国全域」、「県」、「市町村」、「地域（字など）」までの指定が可能。

詳しくは、四国電力送配電のホームページをご覧ください。

URL ⇒ https://www.yonden.co.jp/nw/cnt_line-notice/



《登録用二次元コード》 ◆ 停電情報提供ダイヤル（24 時間受付）について
高知県：0120-459-271

停電状況に関するお客さまからの電話のお問い合わせにお答えする、AIを活用した「停電情報自動音声応答サービス」ダイヤルです。

本サービスは、お客さまが発話された住所※をAIが音声認識し、その地域の停電状況や復旧見通しを自動音声でお答えするもので、これにより、ボタン操作に不慣れな方でも、簡単に停電状況を確認いただくことが可能です。※住所は、『県名、市町村名、町字名』を話していただくよう、AIが音声で案内いたします。

【お問い合わせ先】四国電力送配電（株）山田事業所 ☎0120-410-361 ☎088-826-8325

南国市防災ポータルを活用しませんか？

いつでもどこでも、最新の防災情報を確認できます。



避難所開設情報

最寄りの避難所と開設状況を確認



防災マップ

ハザードマップや危険箇所を確認



防災情報

市や関係機関からのお知らせを配信



気象情報

警報・注意報の発表状況を確認

二次元コードを読み取って
今すぐアクセス！

